

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-II-1

4-II
-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	解説パネル等の整備
	節	II. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	1 解説パネル等の整備		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	県文化行政課
事業実施期間	H28～H31			
事業概要	【事業目的】			
	○ 解説パネル等の整備を通じて、来訪者に各構成資産の価値の理解促進を図る。			
事業概要	【事業内容】			
	○ 最新の調査研究に基づく解説パネルや見学マップ等のガイダンスに必要な基本的な説明媒体の整備を行う。			
事業実績	【事業成果】			
	● 世界遺産の構成資産に関連する解説パネル等について、設置状況・内容等も含め事前調査を行った。			
今後の取組・課題	【課題】			
	■ 解説パネルの表記について、多言語化や専門用語の解説などについて関係者による協議が必要である。			
今後の取組・課題	【今後の取組】			
	■ 解説パネルの設置については、事前調査を基に表記などを協議し設置を進めていく。また、相川地内において、重要文化的景観の構成要素となっている箇所について解説プレート(24枚)を設置する予定である。			
事業評価	【事業の達成度】			
	[a (b) ・ c]			
	◇ H28年度は、解説パネル等の設置状況や内容について事前調査を行い、今後の段階的な整備のための基礎情報を把握できた。			
事業評価	【事業実施の効果】			
	[a (b) ・ c]			
	【総合評価】			
[A (B) ・ C]				

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。